



次世代北信がんプロ オンコロジーセミナー

第8回

大学院生・がん診療連携拠点病院
地域がん診療推進病院等の
医師・薬剤師・看護師・診療放射線技師
臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

Next generation Hokushin cancer professional

Oncology Seminar

一般講演

「初回osimertinib治療後のCGP検査 に関する臨床的検討（C-CATデータを 用いた後方視的観察研究）」

第3世代EGFR-TKIであるosimertinibは、IV期EGFR変異陽性肺癌における初回標準治療ですが、多くの症例で耐性をきたします。すでに、MET遺伝子増幅やEGFRの2次変異に代表される様々な耐性化機序が報告されており、実地診療においてはCGP検査によってこれらのバイオマーカーの検索が可能となっています。本講演では、本邦におけるosimertinib治療を受けたEGFR変異陽性肺癌におけるCGP検査の実態について、C-CATに集積されたデータを基にご紹介させていただきます。

信州大学医学部 総合内科医育成学講座

助教 **荒木太亮** 先生

開催日時

2025. **1.30** Thu
18:00-19:30

(ZOOMによるオンライン開催)

参加希望者は**1月28日(火)**までに
下記のURLまたはQRコードから
お申し込みください。

【参加申込フォーム】



<https://forms.gle/WkMdd9G2KZ5BFfpq6>

特別講演

「生まれつき白血病になりやすい？ MDSのゲノム解析から分かること」

骨髄異形成症候群(MDS)は、形態異常を伴う血球減少、二次性白血病への移行を特徴とする前白血病疾患の骨髄系悪性腫瘍です。これまでに、60あまりのドライバー遺伝子が報告されています。そのうち、親から遺伝した胚細胞性変異が白血病の原因となることが報告され、予想以上に多くこの変異が見つかることが分かってきました。講演では、この生まれつき白血病になりやすい遺伝子を中心に、MDSのゲノム異常についてご説明いたします。

信州大学医学部
血液・腫瘍内科学教室

教授

牧島秀樹 先生



問い合わせ先

次世代北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
TEL : 076 (265) 2886
E-mail : gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
HP : <https://gan-pro.net>